

地域のニーズに応じた農業支援について

野口 華奈美

長崎県立長崎図書館

1 はじめに

今回、第20回ビジネスライブラリアン講習会を受講し、全国の図書館の取り組みだけでなく、海外の図書館の取り組みを紹介していただき、図書館が行う課題解決支援サービスの幅広い可能性に衝撃を受けた。特に竹内講師が紹介して下さった小山市立中央図書館と紫波町図書館で取り組んでいる農業支援がとても興味深かった。今年度、自館において課題解決支援の産業関係を担当しており、農業支援について考える機会が多くあったが、今回のビジネスライブラリアン講習会を経て、「地域のニーズに応じた支援」という視点が自分自身に欠けていた部分であると感じた。

長崎県立長崎図書館は、令和元年10月5日に、長崎県立長崎図書館と大村市立図書館が合築し、ミライo n図書館としてオープンして以降、本格的に課題解決支援サービスに取り組んでいるが、あまり認知されていないように感じる。現在は、ビジネス相談会や就労相談会、課題解決支援に関する講座などを実施しているが、自らが地域のことを学び、より地域のニーズに沿った課題解決支援サービスを行う必要があると思い、本レポートでは、長崎県立長崎図書館(ミライo n図書館)が行う、地域のニーズに応じた農業支援について考えたいと思う。

2 長崎県の農業の現状と課題

長崎県の農産物は、いちごや玉ねぎを含む23品目が産出額において全国上位10位以内に位置し、びわは全国でトップを誇る。地形や天候等の地域の特性を活かした多様な農業の生産が展開されているが、長崎県の農林業・農山村を取り巻く環境は、人口減少が加速化し、農業就業人口は、平成17年から平成27年までの10年間で35%減少している。令和22年度には平成27年と比較し、農業就業人口は63%減少し、75歳以上の割合も37%を占める見込みである。人口減少・高齢化の加速する中で、長崎県は、若者から「選ばれる」、魅力ある農林業・暮らしやすい農山村の実現を目指し、令和3年度からの本県農林業・農山村の目指す姿と施策の方向性を示した計画を策定している。

第3期ながさき農林業・農山村計画の基本目標の1つである「次代につなげる活力ある農林業産地の振興」では、「次代を支える農林業の担い手の確保・育成」の展開を計画している。次代を支える農業の担い手を確保するための第一歩は、若者が農業に触れる機会を提供することだと考える。まずは農業に触れ、興味を持つことから就農につなげる必要がある。

また、長崎県では、新規自営就農者・新規雇用就業者が増加している一方、新規学卒就農者は年々減少しているという現状がある。このことから、県内の農業学生に対して県内就農への意識醸成を行い、次代を支える農業の担い手を確保・育成する必要性を感じる。

【就農ルート別新規自営就農者数の推移】

参考：第3期ながさき農林業・農山村活性化計画

		H24～H26 平均	H28	H29	H30	R1
実績値 (人)	新規学卒就農者	45	48	40	36	31
	Uターン就農者【農家出身】	94	118	134	112	107
	新規参入者※Iターン者+非農家出身のUターン者	39	41	69	84	72
	合計	178	207	243	232	210

3 具体的な提案

本事業は、次代を支える農業の担い手となる、10代～30代の若者、農業学校生を対象として実施する。

(1) ブックリストの作成

農業関係のブックリストを作成する。現在、ミライo n図書館では農業関係のブックリストは作成していないため、小山市立中央図書館の農業支援ブックリストを参考にさせていただき、就農に関するものだけでなく、地産地消や食育などのテーマで幅広く作成する。

(2) 特設コーナーの設置

農業支援の特設コーナーを設置し、各関係機関から集めたパンフレットや資料を設置する。また、定期的にテーマを決め、3～4冊の本をピックアップしてPOPと一緒に展示する。展示本については、テーマを変える度にミライo n図書館のTwitterでお知らせを行う。

(3) 個別相談会の実施

長崎県新規就農センターと連携し、月に1回程度、個別相談会を実施する。長崎県新規農業センターは、就農相談から経営確立までの過程をバックアップしている機関であり、必要に応じて、各種支援制度を活用するための機関や、若手の交流や仲間づくりのために、

地域の農協青年部などにつないでいただくことが可能である。図書館職員は相談会に同席し、必要に応じて関連資料の提供を行う。

ミライオン図書館は、長崎県の中心部に位置しており、JRの駅やバス停も近く、物理的に相談しやすい場所にある。また、身近な場所である図書館で相談会を実施することで、相談に行くハードルも下がり、関連資料の提供も即座に可能である。

(4) 就農講座の実施

新規就農者の確保・育成を行っている長崎県農林部農業経営課と連携し、年に3回、就農講座を実施する。講座の内容は下記表のとおりとする。

現在、ミライオン図書館において、データベースの利用回数が低いため、まずは、少しでも多くの方にデータベースの存在を知っていただくためにも、第1回の講座については、図書館職員によるルーラル電子図書の利活用講座も併せて実施する。また、図書館が地域の見知らぬ人を結びつける、地域コミュニティの場として機能することを活かして、第2回と第3回の講座については、農業者を目指す者、または興味がある者同士の仲間づくりを目的とし、講師も交えた参加者同士の交流の時間を設ける。

図書館職員は、ルーラル電子図書の利活用講座のほか、各回で農業に関するブックリストの配布、関係資料の紹介を実施する。

第1回	「農業の魅力発見」	・農業の魅力や、県内で活躍する新規就農者の体験談などについての講座 ・図書館職員によるルーラル電子図書の利活用講座
第2回	「就農準備講座～必要なモノ編～」	・農業を始めるにあたり必要な機械や施設導入などについての講座 ・参加者同士の交流会
第3回	「就農準備講座～必要な手続き編～」	・就農ルート・形態や支援体制を活用するための手続きについての講座 ・参加者同士の交流会

(5) 県内の農業学校との連携事業

ミライオン図書館内に併設している「カフェミライノ(注1)」と連携し、学校で育てた野菜を使ったメニューの提供を行う。また、提供するメニューについても、図書館の資料を活用しながら、カフェのスタッフ、農業学校の生徒、図書館職員で考案する。メニューの提供期間終了後は、野菜の育成からメニュー提供までの過程についてのパネルを作成し、図書館で農業関連の本と一緒に展示する。

本事業のねらいは2点ある。1点目は農業学校の生徒が、自分たちが育てた野菜を使ったメニューが提供されることで、農業へのやりがいに繋げ、年々減少している新規学卒就農者を増やすことである。2点目は、図書館でパネルの展示を行うことで、身近な同世代の学生の活動から、農業について触れる機会を設けることである。

4 実施スケジュール

	準備期間	1年目	2年目
(1)ブックリストの作成	・作成テーマの検討、作成	・書架に設置する ・相談会や講習会の際に活用する	→
(2)特設コーナーの設置	・資料の収集	・特設コーナーの設置	→
(3)個別相談会の実施	・連携先の確保 ・実施方法についての打ち合わせ	・相談会の実施(月1回)	・相談会の実施(実施回数は検討する)
(4)就農講座の実施	・連携先の確保 ・実施方法・講座内容についての打ち合わせ	・講座の実施(年3回) ・実施後に受講者へアンケートを行い、次年度開催に向けて検討	・講座の実施(実施方法・内容は検討する)
(5)県内農業学校との連携事業	・連携先の確保 ・実施の流れについての打ち合わせ	・野菜の育成 ・メニュー考案	・メニュー提供 ・パネル、関連本の展示

5 おわりに

今年度、初めて課題解決支援サービスに携わり、県の機関である農林技術開発センターとの共催事業として、県産茶に関するイベントを計画していた。「課題解決支援として図書館ができること」を考えながらイベントの計画をしていたが、コロナ渦という制限もあり、とても頭を悩ませた。新型コロナウイルスの感染拡大防止のために、自館で計画していた県産茶に関するイベントは次年度に延期となってしまったが、ビジネスライブラリアン講習会で得たものを活かせる良い機会であると感じている。

新しいことに挑戦するのは、何事もエネルギーが必要だが、講習会を受講し、そのエネルギー源を得たように思う。本レポートで企画した事業についても、実現できるように努めたい。

また、ビジネスライブラリアン講習会を受講し、図書館を利用しない方に対して「どのように広報すべきか」が課題解決支援サービスにおいて重要であると感じた。これまで、課題解決のイベントや相談会を実施する際は、図書館のホームページや館内の掲示などで広報を行っていたが、これらの広報の受け手は、図書館を利用する人である。図書館を普段から利用していない方に対しての PR の第一歩として、講師の方々がお話してくださったように、職員自身が図書館の外へでかけ、積極的に広報活動を行うことを念頭に置いて、課題解決支援サービスを行いたい。

《注》

(注1)カフェミライノは、ミライオン内のカフェであり、地産地消をコンセプトとし、県産の食材を使用したメニューを提供している。

《参考文献》

- ・ビジネス支援図書館推進協議会.『図書館があなたの仕事をお手伝い。』.ビジネス支援図書館推進協議会,2017,7
- ・長崎県新規就農相談センター.『長崎県で農業をはじめませんか』.長崎県新規就農相談センター,2020
- ・全国農業会議所.『就農案内読本 2020 農業を仕事にしたい人の完全攻略マニュアル』.全国農業会議所,2020
- ・全国公共図書館協議会.『公立図書館における課題解決支援サービスに関する実態調査報告書 2014 年度 (平成 26 年度)』.全国公共図書館協議会,2015,3
- ・全国公共図書館協議会.『公立図書館における課題解決支援サービスに関する実態調査報告書 2017 年度』.全国公共図書館協議会,2018,3
- ・内野安彦.『図書館はまちのたからもの、ひとが育てる図書館、図書館サポートフォーラムシリーズ』.日外アソシエーツ,2016,5
- ・大串夏身.『課題解決型サービスの創造と展開、図書館の最前線 3』.青弓社,2008,4

《参考サイト》

- ・長崎県農林部農政課.「令和 2 年度 ながさきの農林業」.2020
<https://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2020/03/1585620756.pdf>
- ・長崎県農林部農政課.「第 3 期ながさき農林業・農山村活性化計画」.2021,4
<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/shigoto-sangyo/nogyo/daisanki-kasseika/474824.html>

- ・長崎県企画部政策企画課. 「長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ 2025」.2021,4
https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/kennokeikaku-project/sougou_plan_change_and_challenge2025/sougou_plan_change_and_challenge2025_keikaku/472278.html